



# たかずやの里通信

令和元年度 -第4号-

・・・発行日・・・

令和2年 3月1日

・・・発行人・・・

児童養護施設 たかずやの里

伊那市東春近7000-8

TEL 0265-72-6456

FAX 0265-72-7607

## 本年度も たかずやの里をご支援いただきまして ありがとうございました。

### 理事長を拝命して

昨年の6月から、たかずや福社会の理事長を務めさせていただいております。

地域の皆様には、日頃からたかずやの里の子どもたちや職員が安心して生活できる環境を創っていただいております、厚くお礼を申し上げます。

「子どもを一人前の社会人になるまで支えていくのは……、成長するに従って接する多くの大人たちの仕事である。」とある書物が述べています。今後ともそれぞれのお立場で温かく手を差し伸べていただけましたら幸いです。どうかよろしく願いいたします。

社会福祉法人たかずや福社会  
理事長 伊藤 隆

### 大切なこと

今や二十歳を過ぎたかつての入所児童数名と話をする機会がありました。

或る一人は入所当時「自分がわがままだと分かっていた。でも、その時の気持ちを解って欲しかった。どうして欲しいかもっと聞いてもらいたかった。」と言いました。

もう一人は小学生の頃、不登校が続き大人の言葉を全く聞き入れませんでした。今は定時制の学校で学ぶことに意欲を持っているそうです。きっかけは今の学校の先生との付き合いから世界が広がり夢や希望が持て「なりたい自分を見つけたから」と言います。子ども達の気持ちを聞き取ることや、夢や希望を抱くことの大切さを改めて感じました。

施設長 菅 雄峰

## 成人を祝う会を行いました



1月11日、たかずやの里に以前入所していた児童の成人を祝う会を行いました。たかずやの里を自立という形で巣立っていった子どもたちは、それぞれの職場の皆様や地域の方々に支えられながら生活しています。大人数でワイワイ過ごしていた日々から一人の生活となると多少寂しさを感じるのが本音のようです。たかずやの里はそんな子どもたちの実家でもあるので、背中をそっと支えたくて、成人を迎えた子のお祝いの会を計画しました。初めて振袖を着た子たちの笑顔がとても輝いており、小さな子たちの憧れの姿でもありました。これからも健康で自分の道をしっかり歩いていってくれることを願います。



↑入所児童や職員も一緒にお祝いしました



## 体験報告&ボランティア紹介

### たかずやの里 クリスマス会

12月22日にクリスマス会を行いました。たかずやの太鼓クラブによるぶち合わせ太鼓で始まり、幼児さんのダンスや児童の歌唱、職員による演奏など、ケーキやお菓子を食べながら楽しみました。会の最後には児童による「叩いてかぶってジャンケンポン」のトーナメントを行いました。笑いに包まれる名勝負が生まれ、とても良いクリスマス会になりました。ケーキ、チキン、シャンメリー、お菓子、ラーメンなどのご寄付もいただきまして、本当にありがとうございました。



↑幼児さんによる可愛いダンスの発表

### お正月恒例行事 餅つき

1月2日にお正月恒例行事の餅つきを行いました。白の中に蒸したもち米が入ると「僕もやりたい」「私もやりたい」と順番にお餅をつき、みんなで「よいしょ、よいしょ」と声掛けしながら協力して美味しいお餅ができました。近頃、杵と臼を使って餅つきを体験できることが少なくなってきた中で、子どもたちにとって新年早々楽しい思い出ができたことと同時に、とても良い体験になりました。今後も正月の風物詩として毎年続けていけたら良いと思います。



↑力いっぱいお餅をつく子ども達

### 伊那スキーリゾート スキー

1月25日に伊那スキーリゾートへスキーに行きました。小学生の子ども達は学校でスキー教室があったため滑れる子も多く、個々のペースで楽しんでいる姿がありました。また、今年はスノーボードに初挑戦する子どももいました。小学1年生はインストラクターの方に教わって初めてのスキーを、幼児さんはそり遊びなどを満喫することもできました。今年は暖冬で雪と親しむ機会が少ないため、貴重な体験になりました。



↑広いゲレンデをのびのびと滑る子ども達

### ボランティア紹介 ありがとうございました

12月21日に「新そばを味わう会」が開かれ、伊那そば打ち倶楽部の皆さんに新そばをごちそうしていただきました。そば粉から麺になるまでのそば打ちを実演していただいたので、子ども達は興味津々、打ちあがるまで熱心に見学しました。その後は、ゆであがった新そばをおいしくいただき、そば好きな子どもは5〜6皿を平らげ、そば湯も飲んで大満足なひとときでした。ありがとうございました。



↑そばをこねる姿を真剣に見る子ども達

## ユニット紹介 - たんぽぽユニット -

たかずやの里には5つのユニットがあり、一つのユニットに最大8人の子どもが生活しています。たんぽぽユニットは、現在3歳から6歳の8名の子どもたちが生活をしています。今年度のユニット旅行では、新潟県にある【上越市立水族博物館うみがたり】へ行ってきました。近くで見るイルカショーでは、ジャンプしたイルカの水しぶきを浴び、びっくり！普段見ることのできない、珍しい海の生き物に大興奮の子どもたちでした。

元気な子どもたちなので毎日とてもにぎやかに、時折けんかもしますが、仲良く楽しく過ごしています。

